



シンポジウム 官民学連携で進める まちづくりプラットフォーム



[趣旨]

市民にも市外来訪者にも魅力ある岩槻を形成していくには、官民(学)連携を協働で進めていくことも必要ではないか、そのためにプラットフォームやその後のエリアマネジメントが重要になるのではないかという問題意識からこのシンポジウムを企画しました。

[内容]

1. 歴史的まちづくりにおけるポイント
2. 官民学連携のあり方について
(役割分担と協働事業等)
3. プラットフォームがあることの
メリットについて

会場：岩槻駅東口コミュニティーセンター 2階

開場：13時半 開始：14時～

参加費：無料

定員：50名(先着順)

お申込み：右のフォーム
よりお申込み
下さい。



主催：さいたま市岩槻まちづくり事務所
問い合わせ先：NPO法人 都市づくりNPO さいたま
メール jimu@tsukutama.info

[パネリストの紹介]



加藤 忠正氏

元・川越市都市計画部参事、川越文化体験カフェ「百屋」オーナー。蔵造りの街並み保存などのまちづくりや美術館建設、建築主事などを担当。2015年から(公社)小江戸川越観光協会専務理事(～2019.5)。東洋大学非常勤講師ほか大学・自治体。公益法人の講師歴任。



尾崎 信氏

東京大学大学院新領域創成科学研究科(日立東大ラボ)特任研究員。専門は都市・地域計画、まちづくり。都市計画コンサルタント、東京大学景観研究室・助教、UDCM・ディレクターを経て、2020年4月より現職。主なプロジェクトは、平泉の景観まちづくり、大槌町地域復興計画、松山市「移動する建築」など。



作山 康氏 (モデレーター)

芝浦工業大学教授。民間都市計画プランナーとして(1983-2010)、各地の都市計画の調査・計画・設計等を経験し、埼玉県景観アクションプラン、柏の葉国際キャンパスタウン、日立駅周辺整備など多数。2015年から原市団地にて、大学と地域が連携して地域課題の解決に向けたさまざまな社会実験や研究を実施中。

岩槻区内にて同時期に開催中！

まちかど雛めぐり

2月23日～3月12日

会場：区内各地

岩槻まちゼミ

2月17日～4月7日

会場：区内各地

ひな市・ちょっと市

3月5日

会場：クレセントモール